

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・留学フェアの開催(参加者251人)や留学支援金の支給(支給者44人)により、生徒が海外へ挑戦する機会の充実を図った。
②	・グローバルリーダー育成塾の実施(参加者673人)等により、生徒が自分と異なる意見や価値観を持った人々と協働して取り組む機会を設け、グローバル人材に必要な資質能力の育成を図った。
③	・日田市でふるさとの魅力を語る「県民フォーラム」を開催した。 ・郷土の発展に尽くした先人についての教材を作成し、県内全ての小・中学校へ配布するなど郷土学習の充実を図った。 ・児童生徒を対象とした「子ども先哲歴史講座」を開催(受講者480人)し、郷土の先哲や歴史文化についての学習機会の充実を図った。
④	・小・中学校において、「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力を育成するワンランク上の魅力ある授業の創造を目指し、「新大分スタンダード」による授業改善を推進した。 ・「学びに向かう学校」づくり中核校(中学校11校)による学校改善の取り組みを進め、その成果の普及を図った。 ・「県立高等学校授業改善実施要領」に基づき、全ての県立高校において「授業改善スクールプラン」と「授業改善マイプラン」を作成し、授業改善を推進した。 ・特別支援学校教員の授業力向上を図るため、全16校の授業研究会に指導主事を派遣し、指導・助言を行うとともに、授業のねらい等を明確にするため、授業構想段階から8校に指導主事を派遣した。
⑤	・文部科学省の「英語教育実施状況調査」(H28)において、「求められる英語力を有する生徒」の割合が、高校生42.8%(全国5位)、中学生36.1%(全国15位)となり、ともに九州1位を達成した。 ・「大分県英語教育改善推進プラン」に基づき、中学校においてCAN-DOリストの作成を進めるとともに、小学校英語の教科化を見据え、小学校教員の指導力向上のための研修を実施した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①② ④⑤	グローバル人材育成推進事業	22,276	A	継続・見直し	216

【VI. 施策に対する意見・提言】

○平成28年度第16回大分県教育委員会(H28.11) ・高校生サミット(グローバルリーダー育成塾)は大変よい取り組みであり、できるだけ多くの生徒に参加してもらい、将来の日本を支える人材として世界へ挑戦する意識を高めてほしい。また、グローバルリーダー育成塾では、将来の見通しが持てる、夢のある話をしてほしい。	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の海外への更なる挑戦意欲を喚起するため、外国語指導助手との交流やイングリッシュ・キャンプを実施し、グローバルに活躍する人材に触れる機会の充実を図る。 ・Web会議システムの導入等により、各学校と海外高校等との継続的な交流を支援する。 ・県内在住の留学生等を国際交流サポーター等として活用しながら、グローバル人材に必要な多様性を受け入れ、協働する力を育成する。 ・県内外で活躍した先哲に関する教材を作成し「子ども先哲歴史講座」等において活用することにより、郷土の先哲や歴史文化についての学習機会の充実と大分県や日本についての深い理解の促進を図る。 ・生徒の思考力・判断力・表現力を育成するため、「県立高等学校授業改善実施要領」を活用した授業改善を引き続き推進する。